

胎内市租税教育推進協議会長賞

税があることで

胎内市立 中条中学校 二年 坂上 心華 さん

今、この世の中には、たくさんの税があります。すべてまとめて、税というのではなく、国税と地方税というのがあります。国税というのは、所得税、法人税、消費税などがあり、この国税というのは、国に納める税金となります。そして、もう一つが地方税です。地方税は、住民税、事業税、固定資産税というのがあります。地方税は、各都道府県や各市町村など各自治体に納めることとなります。このように税は同じでも、納める所が違ってきます。

そうして、この税というのは、何に使われているのでしょうか。それは、わたしたちの身近に使われています。特に多いのが、社会保障にかかるものです。その社会保障というのは、年金や介護、福祉などの公的サービスです。その他にも、家のなかでは、お風呂やトイレの水の上下水道の整備も税金が使われています。道路を整備するのにも、税金が使われています。このように、自分達の身近なところでたくさんの税金が使われています。

もしも、税金が無くなってしまったら、どうなるのでしょうか。まず、町などが今のようキレイな姿ではなくなってしまうと思います。道路や公園の整備に、税金が使われているため、整備する人が居なくなり、どんどん汚れてきてしまうのではないかと思います。それに、介護や医療に税金が使われているため、高齢者の方が、十分な介護を受けられなくなってしまいます。このように、もしも税が無くなってしまったら、今のよう、快適には住めないなと思います。だから、自分達の住む町のためにも、税を払うというのは大切だなと思いました。

今、この時代、コロナという、見えない敵というのがあります。コロナの検査、入院費、特別給付金、GOTOトラベルキャンペーンなどすべてに税金が使われています。それに全国民にマスクが配られました。このように、コロナとなってから、たくさんの税金が使われました。でも、税金というのが高くなる事もあります。つい最近では、消費税が8%から10%となりました。これは、どんどんと使われる税金というのが足りないからです。コロナとなり給付金というのがありますが、国がそれを、国民に払っても、どんどんと、国のお金が減って行ってしまいます。そして税があがってしまったら、意味が無くなってしまふなと思いました。

これからの日本、世界が今よりも、どうしたら、良くなるのかを考えるのが、大切だと思います。